

2019 年度 JCulP Summer Session アンケート結果

<SOAS, University of London>

Summer Session を終えての感想をご記入ください

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・文学の授業を block 1 では選択した。クラス構成は日本人 4 人、韓国人 2 人、フランス人 2 人、スイス人 1 人。アフリカの国のバックグラウンドを持った作家の小説や、オリエンタリズムなど日本では触れてこなかった分野を学ぶことが出来た。授業内容は難しかったが、先生は私たち生徒の意見を大切にしてくれる良い先生だったので、クラス内の意見交換がしやすく、皆が積極的に発言できた。本が好きな人、ディスカッションが好きな人は受講するべき。

Block2 のフィルムの授業は、実践より映画史や映画のセオリーに焦点を当てた内容だった。クラス構成は日本人 5 人、韓国人 3 人、ドイツ人 1 人。こちらはディスカッションより先生の話聞いてメモを取ることが多かった為インタラクティブではなかった。人によっては退屈してしまうかもしれないが、フィールドワークでフィルム映画の映写室に入れてもらえるなど貴重な体験はできるので、この分野を勉強することに興味がある人は受講しても良いと思う。

どちらのブロックでも ICU 生がクラスの半分ほどいた。Block2 では外語大生も加わってさらに日本人が増えた。全く関わらないということは不可能だが、なるべく日本人ではない生徒と行動した方が自分のためになるのであまり頼りすぎないようにした方が良いと感じた。

- ・授業は基本的に discussion 方式で、final project としてプレゼンテーションを行う。英語であっても教授方の陰でとてもわかりやすく、効率的に授業を受けることができた。

留学生活全般について

（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・寮は男女共同のフラットだった。フラットメイトと共有のキッチン掃除当番が決まっていなかったので誰も掃除せず、結局 JCulP 生だけですることになったのが大変だった。使用済みの食器や腐った食品が普通に放置されていてあまり衛生的ではなかった。

駅は寮から歩いて 5-10 分ほどの距離にあったので交通の便は良かった。学校は歩いて 30 分ほどで少し遠いが、徒歩登校には問題がなかった。1 人で出歩くことが多かったが、危険はあまり感じはしなかった。しかし 9 時を過ぎると暗くなってくるので、それくらいの時間帯に流石にアジア人が 1 人で歩いていると狙われるかもしれないのでなるべく誰かと行動した方が良いと思う。

休日は現地ですきた友達と美術館や博物館、マーケットに行ったり、演劇を観に行ったりと広い範囲で行動できた。生徒証があると入場料に割引が効くことがあるので常に携帯していた。また、演劇は立ち見席だと千円以下のリーズナブルな価格のチケットもあるので興味がある人は行くべきだと思う。

- ・携帯電話は個人で借りる方が全体的に効率的であると考えた。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについて

- ・今までに学んでこなかった文学作品や学問分野に触れ、より英語で批判的に物語を分析する力を養えたと思う。これから、JCulP で学ぶ内容はさらに高度に、専門的になっていくと思うのでその学びにこの留学で育てることが出来た力と、学んだテーマ等を生かしたい。

- ・今回の Summer Session を通して、将来のことについて考えるいいきっかけとなった。自分は専門的な科目を履修していたため、それらを活かせる道を将来歩んでいきたい。

次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど）

- ・とにかく日本人が多いが、あまり彼らとは関わりすぎないほうが自分のためになる。最初は辛いかもしれないけど大変でも他言語が母国語のクラスメイトと一緒にいる方がよい。クラスのスタイルは JCulP に似ているところもあるので、春学期のうちにその学び方に慣れておけば授業を楽しめると思うので、頑張ってください！

- ・イギリス、SOAS ロンドン大学の場合、日本人が留学生全体の 9 割ほどを占めているという話のため、もし外国人との交流を求めている場合気をつけた方がよい。

Summer Session を終えての感想をご記入ください

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・ Summer Session であったため、大学内でも留学生が多く、現地生と関わる機会が少なく感じました。授業内はとても国際的で、他の国からの視点を学ぶことができたため、貴重な機会でした。課外活動は一つ一つが充実していて、授業を通さなければ訪れなかったであろう場所に訪問したため、学ぶ機会が増えて楽しかったです。
- ・ 事前にプレイメントテストがありましたが、授業のレベルは現地で相談したところ変更可能でした。English for Academic and Professional Purposes と Broadway Musicals を受講しました。English ~ ではプレゼンテーションやライティングが主で、授業内で行われた field trip は非常に有意義でした。Broadway Musicals ではアメリカの歴史とともにミュージカルを時系列順で学び、とても興味深かったです。クラスメートの大半が中国人でした。

留学生生活全般について

（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・ 全体的に環境はとても良かったです。インターナショナルハウスという寮に泊まったため、寮内でも国際生と関わることができました。寮が提供する食事も美味しかったです。大学内には誰でも使うことのできる Wi-Fi があったため、とても便利でした。暗くなった後は一人で出歩くのは危険ですが、数人でいれば安全だったため、治安の心配はあまり感じませんでした。
- ・ International House にある Dining Hall では料理のバリエーションが豊富でとても美味しかったです。Downtown は少し治安が悪かったです。休日は International House のイベントに参加したり、1人でツアーに参加したりしました。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについて

- ・ 世界をふまえたうえで、自分の国の立場を学び、理解している生徒たちと交流をしていくうちに、自分自身が日本の事をどれだけ知らないかが思いやられました。今後また、留学生と関わる機会ができた時には、世界での日本の立ち位置を知ったうえで、日本人としての意見と文化を発信できるように、JCulP 生として日本文化を学んでいきたいと思いました。
- ・ この summer session で得た経験を活かして、積極的に英語で外国人とコミュニケーションをとっていききたい。また、自分が興味のある分野に関連した授業（Broadway Musical）を受講したのは、非常に参考になりました。そこでの知識を今後の学びにつなげていきたいと思います。

次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど）

- ・ Summer Session 期間はあっという間に過ぎ去ってしまうため、1日1日を大切に過ごして欲しいです。他の留学生と関われるイベントがたくさんあるため、事前に調べてどんどん参加するのが良いと思います。
- ・ International House では様々なイベントを開催しています。エレベーター内に掲示されているのでこまめにチェックしておくといいと思います。

Summer Session を終えての感想をご記入ください

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・私は初級・基礎レベル(Lower Division)の ESL ではない 4 units 程の授業を 3 つ選びました。演技、映画、映画音楽に関する授業です。

初級・基礎レベルは国際学生(高校生以上)がほとんどでたまに現地の学生(その中でもほとんどの人は専攻が授業とは異なる)がいました。中級・上級レベル(Upper Division)だと、その科目を専攻にしている現地の学生が多く授業内容はもちろん、Reading や Essay などの課題の質も量もレベルが高くやりがいはあるが大変そうでした。私には合わないと思い中級上級レベルのクラスから初級・基礎レベルのクラスに変えました。

1 週目の終わりまでなら追加料金を払わずに授業を変えられました。もし履修した授業以外に気になる授業があって時間も空いていたら 1 回目の授業に行ってみることをおすすめします。1 回目にしかシラバス(授業内容や課題、教授の連絡先などが記載されている紙)が配られないので 1 回目の授業に行くことが大事です。

私がとった 4units の授業は週 2 日で、3 つの授業の時間の平均は休憩含めて 170 分(2 時間 50 分)です。私は、5units の授業を 1 つとっていたので週 2 日の講義に加えて週 1 日 50 分のディスカッションクラスがありました。unit 数と授業時間と日数は授業によって変わるので要注意です。金曜日にはあまり授業がないので休日と同じように過ごせます。

課題は各授業週に 1 つか 2 つのペースで出ました。600-1000 words の Essay、300-500 words で質問に答えるなどの課題が出ました。オンラインで提出するものと紙にプリントアウトして直接渡す場合両方ありました。中間テストと最終テストがある授業とない授業で課題の重さも変わってくるかもしれないです。

国際学生も現地の学生も 4 units 以上の授業を 2 つとっている人がほとんどでした。3 つ以上とると少し忙しくなります。

人数は 1 クラス 10 人~30 人程でした。

- ・ Lower のクラスはアジアの生徒が割合的には多く、Upper のクラスは英語を母語としている生徒が多い傾向にあります。Upper の授業を 1 つ取っていましたが、英語をずっと使う環境に身を置けたので、取ってみるのも良いと思います。私が取った授業はグループワークが多く、予想外に多くの国の生徒と話せたのが良かったと思いました。でも、Upper のクラスは想像以上に個人的には大変でした。レポートが多かったり、文献を多く読まなければいけなかったりとなりました。しかし、グループワークが多かったため、生徒同士切磋琢磨して、課題を行ったりできたと思います。経験の 1 つとして UCLA の Upper の授業を取るのはいい経験だと思います。

Lower クラスの留意点としては、中国語を母語としている生徒が多かったため、孤独を感じることもあります。私が取った 1 つの授業では、私以外が全員中国語を母語としている生徒で、休み時間に中国語を話されて、話の輪に入れなく少し孤立してしまっただけでもありません。でも、そのおかげと言ってはなんですが、教授と仲良くなれたというメリットもありました。

- ・ 授業は、lower(英語のレベルが、母国語ではない生徒向け)の授業を二つと upper(英語が流暢に理解できる生徒向け)の一つとりました。lower の方は、中国や日本などのアジアの国の生徒が多い印象でした。英語のレベルもそこまで高くなく、クラスによりますが比較的 pass しやすいと思います。upper クラスは、課題の量がとても多く、授業のスピードなども早かったため、自分にとって少しつらい部分もありました。しかし、英語により深く触れるという部分では、とてもためになりました。

留学生活全般について

(宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など)

- ・ Reiber Hall という寮の 3 人部屋に滞在しました。エアコンは付いていない寮でしたが 6 月の終わりは思ったより寒く、7 月から 8 月のはじめまでは朝晩涼しかったので問題ありませんでした。冷蔵庫やキッチンはありませんが電子レンジはあります。トイレとシャワールームが共同で 1 つのフロアにそれぞれ 4 つずつありました。少し汚いです。

食堂が近かったため便利でした。1 週間に 15 回分食べられるミールプランを選びました。食堂が空いてるお昼の時間と授業が被っていたのでなかなかお昼を食堂で食べられず、夜は友達と外食することがたまにあったので 2、3 回分余ることが多かったです。食べ物や移動費、洗濯代、チケット代以外にはあまりお金を使っていません。それでも 1 週間 \$100-\$200 くらい使いました。移動は場所によって安く便利なのでバスを使いました。でもほとんど Uber か Lyft を使いました。アメリカに行く前に両方

のアプリを入れておくといいと思います。Downtown に行く際は渋滞を避けた時間を選ばないと時間もかかって料金も高くなります。

Sim ではなくスマホを選びましたが全く使いませんでした。wifi は大学でも寮でも使えます。夜は共同部屋で勉強していました。そこで友達も出来ました。寮のフロントデスクにいるのは現地の学生なので何でも聞けば教えてくれます。

土日は観光地へ行って買い物をしたり、劇を見たり、遊園地へ行ったりして過ごしました。1 日は遊んでもう 1 日は予習復習や課題に時間を使いました。キャンパスの周りは比較的安全でレストランやスーパーから雑貨や服を売っているお店までたくさん並んでいるので 1 人でも行ける場所はたくさんあります。

- ・UCLA の wi-fi は強いです。私は Saxon Suits という学生寮に滞在したのですが、そこは wi-fi もありましたし、ウォーターサーバーもありました。ただ、机の上の電気や、掛け布団はなかったですが、過ごしやすかったです。UCLA に行ったのが 6 月下旬だったので、朝と夜の温度差が激しく、部屋義とかは長袖があると良いと思います。UCLA の寮のご飯は、最初はおいしく感じます。でも、後々で日本食が恋しくなるので、日本のものを持って行っておけばよかったですと滞在中に少し思いました。UCLA の近くは休日ですごくには最適な場所だったと思います。Universal Studio、Disney、Hollywood などの観光地も多くあるロサンゼルスにあるので、平日に頑張らして課題を終わらせて休日はルームメイトとかと一緒にどこかに行っていました。また、UCLA は Summer Session の生徒限定で Universal Studio などに連れて行ってくれるイベントなどがあったので、短期留学生にも優しい大学です。

- ・寮は suite タイプを選んだため、限られた人数でトイレやバスを利用することができ、快適に過ごすことができました。しかし、同じフロアの方でも出会うチャンスや仲良くなるチャンスは少ないので、たくさんの方と知り合いたい方には普通の寮のタイプの方が良いなと思いました。食事は、3 種類のカフェテリアを利用することができ、アメリカンフードやアジアンフードまで種類はたくさんありました。しかし、味はどれも似たような味に感じてしまい、途中から飽きてしまい辛くなりました。気候はお昼は日差しがありとてもカラッと暑いですが、朝夜はかなり寒かったです。温度差がとても激しく、上着を持ち歩かないといけなほどでした。休日は近くに観光名所がたくさんあったので、uber などを利用し周り、楽しく過ごしました。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについて

- ・日常生活から大学での生活まで全てに活かせるマインドセットを持つことができたのでそれを維持していきたいです。
- ・Summer Session では、英語で学問を学ぶことの難しさと同時に楽しさも学べました。授業内で自分の意見を言う大切さを Upper クラスから教えてもらったので、自分の意見をつたなくてもいいから、行ってみるといことを学校内の勉学に反映させていきたいと思っています。
- ・今回、summer session で学んだ英語力を授業に生かしていければ良いなと思っています。また、たくさんの人との交流で得た協調性やお互いを思いやる心を、今後より高めていきたいです。

次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

(留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど)

- ・分からないことがあればすぐ誰かに聞いて助けてもらうといいと思います。それをきっかけに友達になることもあります。
学費、寮費や書類提出の期限に遅れないよう手続きは早めに終わらせる
コースや授業の名前に惑わされずに受講条件、授業内容や課題の量を確認してから履修する(サマーセッションの希望先を決める段階で調べたほうがいい)
ハンガー/S 字フックを持っていくと便利です
ティッシュ(箱)とウエットティッシュを持っていく
薬は全部持っていく(風邪ひかないと思ったら風邪ひいて大変でした)
大きめの袋(ショッピングバッグ)があると便利です
気になる人はベッドカバー、シーツ、枕カバーを持っていく
安く学生割りが使えるバス付きのディズニーへ行くツアーなどは早めに申し込む
課題提出やビザのコピーなどで使うのでプリンターの場所を確認する(Student Activity Center で無料で出来ます)

キャンパスが広いので移動時間が 20 分以上かかります。迷子になったときのために早めに行動する建物に着いた後に教室がどこが分からないことがよくあります
大学の名前が入った t シャツやトレーナーが欲しいなら早めを買うこと サイズなくなって売り切れま
す

- UCLA は学校内だけではなく場所的にも、たくさんの経験ができる場所だと思います。留学は勉強も大事ですが、現地の方と話すだったり、現地の有名な場所、歴史的なところに行ってみるといったことも経験の1つとして大事だと思います。そういった観点からすると、ロサンゼルスにある UCLA は最適な場所だと思います。

留学に行く際に気を付けて惜しいことは、薬を持っていくことと、ロサンゼルスにあるグリフィス天文台に行く際は電波に気を付けてください。(実際に行くと、丘の上すぎて電波が通りません)

- 来年の生徒の方々の中には、もしかしたら不安な方もいると思いますが、とにかく一人で全て決断をせず、日本にいるときも現地にいるときも、分からなかったらすぐに近くの人に相談することが重要です。少しのミスでもビザでのトラブルが発生してしまったり、国に行けなくなってしまうこともあるかもしれないので、クラスの他の生徒や留学センターの方など積極的に質問することがとても大事だと思いました。僕もクラスの方の助けがあったからこそ、無事に行って帰れました。

また、そこまで重要なことではないかもしれませんが、アメリカに行く方などは日本にいる時に uber の設定をしておく方が良いと思います。現地でやろうとすると、pin ナンバーなどが上手く送られず、登録できない方がいたからです。あとは、洗濯機はそれぞれのご家庭のものよりは高性能ではないと思うので、なるべくお気に入りの服は持っていかない方が良いと思います。

Summer Session の手続き方法（早稲田大学・留学先）について、気になった点などをご記入ください。

- ・ TOEFL などのスコアと大学が提示しているコースや大学に違いがありすぎることに

Summer Session を終えての感想をご記入ください

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・ Academic Purpose と IELTS の授業を併合して学ぶことができる。

授業レベル : 初級レベル、基本的な文法や文章の作成を学べる。

クラスメイト構成 : 主に大学生が占めているが、中には実際に自国で教師をしていたり、仕事を持っていたり、短いタームで語学研修を行いに来ていた。

課外活動など : FOCUS という UQ 在学中の International students 率いる団体への参加や UQ の ICTE で開催されていたスポーツや Conversation class などの参加が可能。いろんな生徒との交流によって有意義な学生生活が出来たと感じている。

留学生生活全般について

（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・ 5 週間のホームステイを経て、ホストファミリーとルームメイトとの距離が縮まり、とても有意義な生活を送ることが出来た。食事は平日の朝夜、土日の三食が出され、家族との時間と楽しく過ごせたというように記憶している。山の上にある家だったため、交通に関しては不便な面があった。市内までに 50 分ほどかかってしまう。しかし、治安の面ではとても安全な地域であった。携帯電話に関しては主に SIM カードの利用が良い。しかし、携帯電話会社に SIM の解除などは留学前に必ず確認を怠らないようにする必要がある。そうした場合に Wifi を持っていくことになるが、たまに不便である。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについて

- ・ 基本的な文法などを学べたことによって細かなミスを減らしていきたい。

次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど）

- ・ 留学先でできたこと : 世界中に多くの友人ができたこと
- 学んだこと : 人それぞれが異なる文化や習慣があることをきちんと自身の中で組み取る必要があるということ
- 気を付けてほしいこと : 現地にいる他の日本人大学生を固まって交流をするのではなく、自分の持っているスキルを存分に活用して他の国の人たちとコミュニケーションを図ること！

Summer Session を終えての感想をご記入ください

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・テキストに沿ってディスカッションをしたりする general English と、英国の歴史や文化を学ぶ British culture の 2 種類があり、最大 8 人程度の少人数クラスでした。プレイズメンテストが満点だったため一番上のレベルのクラスにいましたが、極端に難しい内容ではありませんでした。

留学生活全般について

（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・宿舎はキッチン共有の男女共有寮でしたが、設備は清潔で、フロントの対応も良かったです。周囲が国立公園なので気候も良く、景色も美しいです。鉄道で 10 分ほど行くとブライトンがあり、授業後は海辺で読書したりして過ごしました。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについて

- ・初めての渡英で、新鮮なこともたくさんありましたが、ネイティブが話す英語のニュアンスやコロケーションを、自分の英語で学ぶことができた経験は私の英語学習の軸になるような有意義なものでした。

次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど）

- ・受験を乗り越えた自分の英語に自信過剰にならないで、冠詞・時制・助動詞までネイティブの使う細かい違いを観察し吸収するべきだと思います。1 ヶ月を生かすも殺すも、自分次第かと。

Summer Session を終えての感想をご記入ください

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・ INTENSIVE ENGLISH を選択したのですが、私のクラスは主に文学を学ぶのとプレゼンテーションを学ぶ授業がありました。また選択授業ではアメリカの LGBTQ +に関するポップカルチャーをメディアを通して学びました。他にもフィルミングの授業を選択してミュージックビデオを製作しました。私のクラスは比較的簡単でした。ほとんど中国から来た生徒でしたがイタリアやラテンアメリカから来た生徒もいました。私はイタリアの男の子とすごく仲良くなれました。
- ・ 生徒一人一人の学習意欲がとて高く、ディスカッションがどんどん進みました。また先生も私たちが実践的に楽しみつつ英語を学べるように、とても良くしてくださいました。
- ・ 授業は reading/writing のクラス、speaking/listening のクラス、選択で gender のクラス、filming production のクラスを撮りました。授業は月曜から金曜まで毎日朝の9時からあり、終わるのは大体4時でした。
r/w&s/l の授業は1日目に試験を受け5クラス15-20人に別れて受けました。クラス自体はレベル別ではないと言われましたが、実際は担当の教諭によってやることは全く違います。私は reading writing のクラスで一番内容が難しく、課題が多いクラスでした。1日で2章分、3章分の本をよみ、discussion したり、単語テストも毎週ありました。本の内容も独裁主義、全体主義といった公民的な内容と、世界史日本史の知識も問われるので大変でした。レポートは全部で3、4回提出がありました。
Speaking Listening のクラスは、哲学的なことを学んだり、プレゼンをしたり、自国の国を代表して discussion をしました。toefl の listening でテストもありました。
gender のクラスはアメリカの映画を見ながら gender role を分析していき、filming のクラスは一から構成を考えて、グループに分かれて MV や CM を作成していききました。最後に鑑賞会があります。生徒のレベルは全体的に高いです。中国の方が多かったのですが、高校生ならみんな学校で一番で一番に入る方だったり、北京大学、上海交通大学、復旦大学など中国を代表する大学の人ほとんどでした。他国の人も年齢問わず様々な人がいました。
- ・ The study atmosphere is really active.
In my class, almost all of the students come from China.

留学生活全般について

（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・ 寮はアジアとヨーロッパ圏に別れられていた気がします。
私のフロアはほとんど中国人だったので共用の洗面所が本当に汚くて泣きそうでした。また日本みたいに毎日清掃員が綺麗にしてくれる文化がないため、ゴミ箱のゴミが溜まった時は悪臭できつかったです。しかしこれは寮やフロアメイトによるので運次第だと思います。寮で良かった点は、一人部屋だったことです。あとはダイニングで毎日友達に会えることや、門限がなかったため近くのサルサクラブで友達と深夜まで踊ったのは楽しかったです。
クーラーが部屋に設備されていなかったため暑くて死にそうでした。なので扇風機を買いました。
食事はまあまあ美味しかったです。毎日日替わりだったので飽きませんでした。
駅やアウトレットに行く際は全て Uber で行きました。友達と割り勘をすればそこまで高額ではないです。コネチカット州は NY とすごく近いので留学期間中に3回は一人で行きました。電車またはバスを使えば2時間で行けます。他にもアイビーリーグ校を見るためにバスでボストンに行ってハーバード大学へ行ったり、ローズアイランド州に行ってブラウン大学を訪れたりして本当に楽しかったです。これはイエールに留学していたからこそ行けたのかなと思っています。
Wi-fi はキャンパス内にどこでもあるので完璧です。
昼休みに宿題は終わらせて放課後はもちろん週末は必ず遊んだりジムへ行きました。毎日何かしらのイベントがあったのでイエールの友達と寮にあるブレイルームなどで時間を過ごしたりしていました。NY トリップや海へ行くなどイエールのイベントだと交通費がほとんど無料なのでお金の節約にもなりました。ただこれは抽選なので必ず行けるとは限りません。

- ・余暇：大学の博物館や美術館、図書館がたくさんあってとても素晴らしかったのでそこに行ったり、くじに当たった人は NY に連れて行ってもらっていたりしていました。近くには映画館も公園もカフェ・レストランも服屋もたくさんあったので、暇することはありません。
治安：ホームレスの方が多いです。声を掛けられても無視するようにと大学から説明がありました。夜は治安が悪いです。
宿舎：寮の部屋はエアコンがなく、窓を開けないととても暑いです。しかし網戸がないので、虫が大量に入ってきます。対策グッズがあると便利です。教室、食堂やコモンルームは寒いくらいにエアコンが効いています。
食事：1日3食×週7日食事付きですが、メニューがほぼ変わらないし美味しいは美味しいですが特別美味しいということはないです。周りに食べ物屋さんがたくさんあるので、飽きたら外に行けばいいと思います。
- ・気候は晴天の日が多く、雨傘は1、2回ほどしか使いませんでした。が、晴れる日は晴れ、降るときは土砂降りなので、雨の時に傘がないと絶望的です。
治安は良いとは言えませんでした。お金をせがむ人や、夜は怒鳴り合いや銃の使用も時々。ですが聞いた話によるとイエールの学生に危害を加えると罰があるらしいので、生徒は比較的安全かと思われます。夜は絶対に歩かないように。
交通は近場だと毎回ウーバーを使用し、NYに遊びに行くときは2時間かかる電車を使いました。NYではsubwayを使っていますが、最初は複雑で難しいです。NYのsubwayのアプリを入れておきましょう。
Wi-fiは大学についています(net idがパスワード)食事は大学の寮についていて、ビュッフェです。たまに特別な日があります。
寮はいくつかの塔があったのですが、大体は人種で分かれています。ヨーロッパ人の多い寮、ほとんどがアジア人の寮など。
寮の部屋は2、3人でシェアの人がほとんどですが、私は一人部屋でした。完全にランダムらしいので、部屋の鍵をもらって部屋に入るまでわかりません。
イエールは美術館などが周りにたくさんあるので土日は回ったり課題をしていました。

- ・ In the dorm, there's no conditioner, and it's quite hot in the summer.

今後、Summer Sessionで学んだことをどのように活かしていくかについて

- ・英語が通じていてもその人の母国語を知っていると仲が深まってその人のパーソナリティを知れるということが改めて感じたので、後期の授業はイタリア語とスペイン語を学びたいと思います。
- ・英語力だけでなく英語を使ったコミュニケーション能力が向上したと思います。JCulP内での授業で、出発前よりも積極的に行動していきたいです。また異文化理解の観点から見ても、今回のSummer Sessionは有意義でした。将来の職業でもこの経験を基に自分の研究を進めていきたいです。
- ・レポートの成績を劇的に上げることができたので、日本での成績向上のモチベになりました。イエールは環境も素晴らしく、図書館で勉強したこと、あのクラスのメンバーと勉強したこと、イエールの教授と関わったことが人生の宝物です。また出会った人も、離れた後もSNSでつながってまだお互いを励まし合っています。
- ・ I'm more active. I also hope the experience can help me with my paper.

次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

(留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど)

- ・食べ過ぎ注意、アメリカのハンバーガーは敵です。毎日ジムへ行きましょう。
課題はその日に終えましょう、楽しいことがたくさんあります。
寮で友達と楽しみすぎてオールするのはやめましょう、次の日がきついです。
自分から積極的に声をかけて、とりあえず相手の国を褒めてください、友達が簡単にできます！誰もこの人変だな、なんて思いません。声をかけなかったら後ですごく後悔するはずです！
- ・たとえ話したいことがまとまらなかつたり上手に言えなかつたとしても、相手は待ってくれるし意味を汲み取ろうと聞き返したりしてくれるので、積極的に話した者勝ちです。出身や年齢が違う人たちとこんなに話せて、議論できるなんて贅沢です。存分に楽しんで活用してもらいたいなと思います。

- ・寮の部屋にはクーラーがないので、暑いサウナ状態でした。夜暑さで目覚めることも何回か。扇風機は Yale Bookstore で買えます。
近くに Good Nature という 24 時間営業のお店があるので、そこで水などを買うことをお勧めします。
- ・ It's really important to take a fan with you.

Summer Session を終えての感想をご記入ください

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・クラスメイトは 15 人程度の少人数制なものが多く、現地のイエール生と一緒に授業を受けるものです。なので授業の内容はとても濃く、学ぶことの多いものでしたが、英語に自信がない人や、自分から積極的に発言するのが苦手だと厳しかったかもしれないと思うことが多かったです。英語のスコアが基準に満たしていたとしてもついていけないくらい大変なものでした。予習、レポートなどの宿題が多いので、他の JCulp 生と比べて授業時間外で楽しめる時間が少なかったです。同じイエール大学に滞在した JCulp 生の中でも唯一私がβだったのでやはりみんなと時間をあまり過ごせないのがとても悲しかったです。

留学生生活全般について

（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・寮の部屋でエアコンや電気家具がない。
そして、やはり治安が良くない。滞在期間中に寮近くで銃殺事件があった。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについて

- ・アメリカでの教育問題(住居・職業問題)を詳しく分析し、解決策をみんなで見つけ出す内容だったのでこれからは日本の住居問題(例：東京一極集中)について、自分なりの解決策を見つけて出したい。

次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど）

- ・英語の基準スコアが満たしていてもやはりレベル高い大学というのもあり、ついていくのに一苦労します。なので留学を楽しみたいというよりは知識や人間としても成長したいという方寄りだと思います。ですが、新しい発見が多く、得るものは多かったのでは是非お勧めします。

Summer Session を終えての感想をご記入ください

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・Vrije Universiteit はかなり多様性のある留学先になっていて、凄く豊かな体験をしました。一年の夏で行った場合、ほぼ最年少になると思います、何故なら大体の学生が大学二年生で、その他にも自営業、企業の Vice President、学校の校長せんせいなど色んな社会人もいますからです。普段の雑談でもたくさん学べるし、たくさん面倒を見てもらう事もあった。凄く心温まる経験になったし、生涯の友達もいくつもできた。

留学生生活全般について

（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・宿泊先は申請の時に決める事ができ、ホステルだったり、大学の寮はもちろん、ホテル、後学生ホテルなどたくさん選択肢があった。二週間単位で一つの宿泊先で、自分はホステルと学生ホテルに宿泊しました。ホステルは非常に賑やかで楽しかったです、おすすめします。天候は非常に良いです、暖かく涼しい風も吹いている、ですが雨の日は少し寒いです。食事はやや高いです、自炊すれば断然安くつきます。アムステルダムは世界都市治安ランキング上位なので非常に安全です、でも色んな日本では違法な事（薬物、18で飲酒喫煙合法、クラブ）が合法なので、自分から気を付けてください。交通は非常に便利です。早めに7ユーロかかる交通カードを作った方が良いです、節約できます。交通システムは少し複雑なので、行く前に少しリサーチするのがおすすめです、疑問があったら何でも聞いてください。携帯番号、ネットに関しては、ヨーロッパのネット利用費は非常に安いので当地で買うのがおすすめです、携帯番号も付いています。保険、サポートデスクに関しては、非常に使いやすいサービスでした。24時間前であればキャッシュフリーで病院で診断を受ける事も出来ます。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについて

- ・今回の留学ではヨーロッパの文化を知る事ができた事と沢山の先輩から学んだ色んな人生経験が一番大きな収穫だと思います。人生経験等を活かすのはもちろん、ヨーロッパに対する自分の姿勢、見方などにアプライして、自分の主観を強める事におうようしたいと思います。

次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど）

- ・留学先では自立が未熟ではあるができた。留学先では自然とたくさんの事が学べた。（クラスの方がより多く生涯の為になる事を学んだ）。お金使いには気を付けてください、日本での金銭感覚で使うと怖いですよ。日本にしか無い物を持って行くと良いです、（汗ふきティッシュ、白米等）。生活に慣れると非常に暮らしやすい場所です、たくさん楽しむ事が出来ます。自分は早く慣れておけばな〜って今も思います、なので何か聞きたい事があったら何時でも聞いてください。

Summer Session を終えての感想をご記入ください

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）

- ・バイキングのクラスは約四十人余りで構成されている。ほぼ半数の人数がデンマーク人で残りの半数はアメリカ、イギリス、オーストラリアから来たネイティブ。そしてアジア人など少々。つまりネイティブレベルのクラスをとってしまった。クラスの大半が女子で、女子との付き合いが苦手な私にとってはこれまた地獄。授業の内容もかなりハードで読み物多数に授業最終日は計 12 ページの書類を作ってオンライン上に提出しなければならない。二週間とちょっとの日数ではこれを行うのはかなりハード。途中で後悔した苦々しい思い出が蘇る。。留学先リストから選ぶのも賢い選択ではある。一方で課外活動など楽しい思い出もある。Facebook で登録すれば参加できるフィールドワークがあり、デンマークの古い町並みを体現した、遊園地に行つて世界的有名バンド『Aqua』のコンサートを見ることが出来た。授業内の課外活動では世界遺産である碑文を観察した。相当興味がなければ、授業についていけないと思う。実際生半可な覚悟で行つた私には意味不明だった。

留学生活全般について

（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）

- ・シェアできるマンション（？）みたいな所に宿舎が決まった。スペイン、デンマーク、スイス、ルーマニアなど様々なフラットメイトと交流ができるのは大きな経験。一つ注意しなくてはならないのが物価、物によって変動があるが基本 25% の消費税がかかる。留学先がタダだと思つて舐めてみると大目玉をくらう。私の場合、逆に慎重になりすぎて余りお金を使わなかったのでお土産のためにお金を貯めとこう。もちろん親孝行も考慮に入れて。携帯電話、保険、Wi-Fi などはプロの人達に留学前 help をすると全部やってくれる。感謝の心を大切に。

デンマークで気に入らなかつたのが気候と食事。夏の間は安定しづらく、急に雨が降つたり晴れたりする。持つとしたら傘よりもレインコートの方がいいかも。デンマークの料理を dis るつもりは全くないがシンプルなワンプレートが多く、退屈なメニューと捉えてしまうかも。そもそもデンマーク料理はそんなに見なかつたし、実際どんな食事なのかというのも三週間では把握することができなかつた。料理するのがめんどくさい時は地中海料理やマックにお世話になった。不健康三昧。

一番重要なのは、勉強に振り回されないことだと思う。私は案の定勉強に振り回されてデンマークの綺麗な町並みを自転車で観光するという目標を達成することができなかつた。国ならではの楽しみを思う存分後悔のないように経験する事はこれからの人生の試金石にもなる。自分のペース、マイペースで。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについて

- ・個人的な話ではあるが、文章構成能力は人の人生を左右する力があると思つても過言ではない。私はエッセイを書くのが大の苦手だ、そしてエッセイを書けるようになれば大抵の事は人生でなんとかなる。海外の大学の基準ではエッセイを書くことが当たり前である。向こうの人たちにとってはエッセイを書くことは常識の範囲内らしい。よつて留学前からその能力を磨いておく事もすごく重要。JculP の教授方を味方につければ怖いもの無し。（ただし勉強がどうしても好きなのであればの話）残酷すぎるが、勉強とエッセイは避けては通れない道。

次年度の学生に伝えたいことをご記入ください

（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど）

- ・単位取得の状況を把握しておく事が一番重要。自己申請で基本一人暮らしに近い生活になったら、いやでも動かなければいけない。掃除や洗濯、特に料理などは色々手こずつた。カレーやお好み焼き、簡単な日本食も作れると現地民に喜ばれるかも（注目）。割合で言つたら楽しいこと 2 辛いこと 8。留学の基本は多分これ。でもこれを乗り越えればあなたもきっとカッコいい JculP 先輩になれるかも。